

実施要綱	1. 期間	2015年8月22日(土)～2016年2月27日(土) (開講式: 2015年9月5日(土) 13:30～15:00)
	2. 研修内容	・国内講義 約60講義(予定) 土曜日 13:30～15:00、15:15～16:45(2講義) / 水曜日 18:30～20:00 日曜日(合宿時) 8:50～10:20、10:30～12:00 ・合宿 都内研修施設にて2回(各1泊2日) ・カンボジア現地研修(2016年3月中旬、約9日間を予定)
	3. 講義会場	JHP・学校をつくる会 教室(読売理工学院ビル6階) ほか
	4. 定員	全科目履修生(本科生) 20名
	5. 国内講義受講料	社会人60,000円 学生50,000円 ※9月4日(金)必着でお振込願います (別途カンボジア現地研修費 約20万円がかかります)
	6. 選択科目履修生	1講義から選択科目履修生(聴講生)も受け付けます。(要予約) 聴講料:1,300円(1講義)/回数券6,500円(6講義分) ※当日支払 原則として納付された受講料・研修費は返還できません。
	7. その他	

申込方法	■受講資格	・18歳以上 ・性別・国籍不問(講義は日本語) ・本講座の趣旨を理解し、継続して講義に出席する意欲のある人 ・団体行動のとれる人 ・講座修了後、様々な分野で国際協力活動に積極的に参加する意思のある人
	■全科目履修生 申込方法	・所定の「受講エントリー用紙」に必要事項を記入し、「JHP・学校をつくる会 国際ボランティア・カレッジ担当」宛へご郵送ください。(FAX、E-mail 不可) ・エントリーシートはホームページよりダウンロードにて入手願います。 ・エントリーシートは9月1日(火)必着で提出願います。なお、8月20日(木)までに提出いただいた方は、8月22日(土)の講義より全科目履修生として登録いたします。 ・エントリーシートは返却いたしません。
	■選択科目履修生	・各講義前日の17:00までにメール・お電話・FAXにて、ご希望の講義・氏名・連絡先(電話番号・メールアドレス等)をご連絡願います。(要予約・先着順) ※少人数制の教室であるため、席数の都合上お断りする場合があります。

説明会のお知らせ	・日程: 2015年7月 4日(土) 13:30～ 2015年7月11日(土) 13:30～ 2015年7月25日(土) 13:30～ 2015年8月 1日(土) 13:30～ 2015年8月 8日(土) 13:30～ 2015年8月22日(土) 15:15～ (第1回講義終了後) 2015年8月29日(土) 15:15～ (第2回講義終了後)
	・場所: JHP・学校をつくる会事務所 (7/4, 7/11, 7/25, 8/1, 8/8) 読売理工学院ビル5階 教室 (8/22, 8/29)
	※参加希望の方は、前日17:00までにメール・お電話・FAXにて連絡願います。 このほか、個別での対応もいたします。(要事前連絡)

エントリー受付・問合せ先

※本紙の内容は変更になる場合もあります。最新情報・詳細情報は、
当会にお問合せ、またはホームページ(下記URL)をご参照ください。

認定NPO法人 JHP・学校をつくる会 (担当:松本、上田)
〒108-0014 東京都港区芝5-26-16 読売理工学院ビル6階
TEL: 03-6435-0812 FAX: 03-6435-0813
E-mail: college@jhp.or.jp
URL: <http://www.jhp.or.jp/college/index.html>



認定NPO法人
JHP・学校をつくる会
JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER



JHP・学校をつくる会事務所 地図
交通案内 JR山手・京浜東北線「田町駅」から徒歩2分
都営地下鉄浅草線・三田線「三田駅」から徒歩1分

著名人による特別講義と国際協力・理解講座

小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ

第10期

開講期間: 2015年8月22日(土)～2016年2月27日(土)



できることから
はじめてよう

JHP・学校をつくる会は、学生・社会人の皆様に国際協力・国際理解の学びと体験の場を設けています。2015年8月から半年間、一流講師による国内講義(約60回)、カンボジア現地研修(約9日間)を通じて、仲間と共に国際協力に対する理解と行動力を高めていきましょう。
10期の節目となる今期、当カレッジは一つの区切りの年と位置付けております。このチャンスを活かし、あなたも国際人としての一歩を踏み出しましょう!



認定NPO法人
JHP・学校をつくる会
JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER

塾長あいさつ



「集まろう！地球市民」という呼びかけがそのまま本講座の目的です。1990年代、ヨルダンの難民キャンプで、その翌年は、クルド難民救援を大学生と共に行動し、厳しい中東の戒律を乗り越えて、助け合うことの多くを学んだ彼らを誇りに思い、それが「JHP・学校をつくる会」の原点となりました。92年からは教育を奪われたカンボジアの子らの為、学校建設に参加した若者たちが人間的な成長を見せ、それが国際ボランティア・カレッジ設立への思いにつながりました。

旧ユーゴやインドの災害救援など、JHPから国境を越えた若者は1,500名に達します。その彼らに対し、近い将来、大学・財界が奨学金や単位の認定等を考慮されれば、地球的視野を持つ若者が飛躍的に増えるでしょう。本講座では元カンボジア大使今川幸雄氏が副塾長となり、賛同された大学人、専門家、文化人を講師に仰いで、海外活動を実践する。それが次代を育むものと信じて開講の挨拶といたします。

小山内美江子

推薦の言葉



「国際ボランティア・カレッジ」は、国際協力教育についての実践講座として10期目を迎え、さらに実績を深めていくことでしょう。この企画を推進する小山内美江子さんを中心とする「JHP・学校をつくる会」は、カンボジアを中心に22年かけて327棟余の学校建設等々の実績を持っていますが、この講座は今、求められている新しい分野の一つで理論だけでなく、体験、実践を伴うことが講座の強さ・特色でもあり、今後が期待されますね。

また、この講座は、青年だけでなく元気な高齢者増加の日本に必要なものともいえます。98歳の私も年なりのお手伝いをさせていただきます。

評論家 秋山亨子

推薦の言葉



壊れた機械を直すためには、機械の動く仕組みを知らなければなりません。世界が壊れてしまったら、「世界の仕組み」を知らないと、立て直すことはできません。平和が壊れてしまったら、「平和を維持する仕組み」の知識が必要です。機械を直すためには、実際に壊れた機械と取り組む必要があります。世界についても、同じこと。皆さんに、少しでも「世界の仕組み」をお伝えすることができれば、と願っています。

平和の礎には教育があります。教育があつてこそ、平和の尊さを知ることができるのです。教育を立て直すには、まず学校から。学校を建てることは、教育を再建し、平和を再建し、世界を立て直すための第一歩なのです。

学んで実践し、実践した経験を元に学び直す。世界のために、平和のために、教育のために力を尽くそうとする人々を応援します。

ジャーナリスト 池上彰

副塾長あいさつ



世界が地球化(グローバル化)に向かって進んでいる21世紀の今日でも、先進国と後発開発途上国との格差は大きく、人道上の見地からする後発途上国への国際協力は、先進国国民の責務であるといえる。

「3年B組金八先生」など劇作家としての有名な小山内美江子先生は、90年から後発途上国、特にカンボジアで教育支援のNGO活動を続け、認定NPO法人JHP・学校をつくる会を設立し、327余の小学校建設などに多大の成果をあげたが、それとともに、毎年、30名程の学生や社会人を引率し、現地カンボジアでボランティア活動の実践教育を行ってきた。JHPは、06年度から小山内イズムを継承して国際ボランティア活動の中心的実践者になりうる人材養成を目指し、JHPの中に国際ボランティア学の理論と実践教育のため、「小山内美江子 国際ボランティア・カレッジ」を開講した。

今川幸雄

国内講義 部門・講師(敬称略・五十音順) *講師は変更になる場合もあります。詳細は事務局までお問い合わせください。

国際協力部門

—国際協力・国際援助と国際NGO—



松本伸夫講師

国際協力部門講師

- 部門長: **松本 伸夫** (JHP・学校をつくる会理事、元東海大学国際学科教授)
木山 啓子 (JEN 事務局長)
栗田 充治 (亜細亜大学国際関係学部教授)
五月女光弘 (元外務省 NGO 担当大使、JICA 青年海外協力隊訓練所教官)
関口 明子 (国際日本語普及協会理事長)
高橋 祐子 (佐野ユネスコ協会常任理事、聖イグナチオ教会会員)
田中 雅彦 (国際協力機構 JICA 地球ひろば所長・広報室室長)
谷山 博史 (日本国際ボランティアセンター代表)
中込 祥高 (JHP・学校をつくる会事務局長)
藤原 紀香 (Smile Please☆世界子ども基金発起人、女優)
目加田説子 (JCBL 地雷廃絶日本キャンペーン理事)
吉岡 健治 (JHP・学校をつくる会理事)



谷山博史講師



藤原紀香講師

国際理解部門

—国際政治・国際理解とカンボジア—

国際理解部門講師

- 部門長: **今川 幸雄** (元駐カンボジア大使、関東学院大学名誉教授)
青木 一能 (日本大学文理学部教授)
遠藤 宣雄 (元上智大学アジア文化研究所名誉所員)
小川郷太郎 (元駐カンボジア大使)
篠原 勝弘 (元駐カンボジア大使、公益財団法人シーセフ副理事長)
住友 正人 (アジア福祉教育財団難民事業本部)
田島 高志 (元駐ミャンマー・カナダ・ブルガリア大使)
中川 武 (元早稲田大学理工学術院教授、博物館明治村館長)
丸井 雅子 (上智大学総合グローバル学部准教授)
山崎 裕人 (元警察庁警察大学校長)
山田 寛 (帝京大学非常勤講師、法務省難民審査参与員)
山田 裕史 (カンボジア市民フォーラム事務局長)
山中 ひとみ (カンボジア古典舞踊家)



今川幸雄講師



青木一能講師



山中ひとみ講師の民族舞踊学習



充実の少人数制授業

特別講義部門

—援助実務と国際人としての教養—



小山内美江子講師



岩本宗孝講師

特別講義部門講師

- 部門長: **岩本 宗孝** (JHP・学校をつくる会理事)
有森 裕子 (ハート・オブ・ゴールド代表理事、元マラソン選手)
池上 彰 (ジャーナリスト)
今川 純子 (JHP・学校をつくる会副代表理事)
江川 紹子 (ジャーナリスト)
小山内美江子 (JHP・学校をつくる会代表理事)
熊倉 功夫 (静岡文化芸術大学学長、林原美術館元館長)
佐高 信 (評論家)
寺脇 研 (元文部科学省文化部長、京都造形芸術大学教授)
BAKU 斉藤 (スタジオバク代表、カンボジア写真家)
藤井 石根 (明治大学名誉教授)
細川佳代子 (スペシャルオリンピックス日本名誉会長)
源 由理子 (明治大学大学院ガバナンス研究科教授)



細川佳代子講師



佐高信講師



有森裕子講師



池上彰講師

カンボジア現地研修

国内講義終了後、カンボジアでの国際協力活動の現地研修を行います。JHPプノンペン事務所でのレクチャーや、JHPが支援している児童養護施設での子どもたちとの交流、現地で活動する他NGOや文化遺産の見学など、知識と経験の両面から学び、同国の魅力や国際協力の意義を体系的に理解していきます。



JHP プノンペン事務所にて



音楽教員養成施設にて



子どもたちとの交流



地元からのおもてなし



現地で活動するNGOを訪問

訪問予定先

- ・JHP・学校をつくる会(プノンペン事務所)
- ・学校建設現場(JHPプロジェクト)
- ・教員養成施設(JHPプロジェクト)
- ・CCH(児童養護施設)
- ・シャンティ国際ボランティア会(SVA)
- ・Nature Saves Cambodia!
- ・在カンボジア日本大使館
- ・JICAカンボジア事務所
- ・キングフィールド(チュエンク)
- ・トゥールスレン(元政治犯収容所)
- ・アンコール遺跡群・遺跡修復現場
- ・マーケット

*訪問先は変更することがあります。
 詳細は事務局までお問い合わせください。



遺跡修復現場を見学



アンコールワット見学

カレッジ受講生の声

カンボジアや紛争の続く国々について、まさにその場に遭遇された方や対策に取り組んでいる方の講義をお聞きすると、実際に自分も居合わせているかのような気持ちになり「自分も何かしなければ、自分に何ができるだろうか」と自問させられました。

また、各国の情勢・諸問題を学習するとともに、日本の文化や風習、外交論に触れることで、改めて自分が日本人であることの喜びや誇りを感じる事ができ、そして、日本人として海外の方とどのように接していくべきかを考えるようになりました。

(第9期履修生・50代男性)

このカレッジの魅力は、少人数での学習会ということもあり、お互いが密接に意見交換や情報交換できることにあります。著名な先生方も気さくにお付き合い頂き、生徒間においても同等の立場で参加できることがとても心地よく、刺激になりました。

講義中、よく笑い、時には怒りやむなしさを覚え、また、感動で胸が詰まることもありました。その時の気持ちを忘れずに、そして、カレッジで得られた知識をもとに世界の方々のために何らかのアクションを起こしていきたいと考えています。

(第9期履修生・20代女性)